

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

中心市街地活性化基本計画

中心市街地の賑わい再生に向け、中心市街地の活性化に関する法律に基づき策定された計画

文化芸術ゾーンの整備方針

既存の文化芸術的資源を活用して、文化・芸術をテーマに集客力を向上させる地区

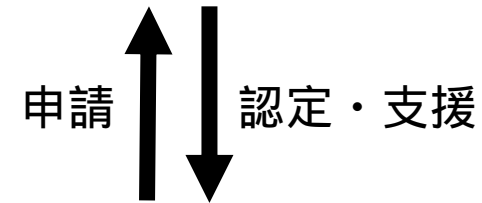
整備方針は文化芸術ゾーン形成検討会議で検討

- ・公会堂改修
- ・7条緑道整備
- ・常磐公園周辺整備

・河川空間整備

かわまちづくり支援制度

国土交通省が、中心市街地の活性化などを目的に、にぎわいのある河川空間の創出を目指す市町村等において、まちづくりと一体となった河川整備を支援する制度



旭川市かわまちづくり計画

旭川市が、文化芸術ゾーンにおいて石狩川の河川空間と一体となった、まちづくりを進めるため策定した計画

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

「文化芸術ゾーンの整備方針」は、『文化芸術ゾーン形成検討会議』において議論され、市民意見の公募などを経て策定されています

【河川区域】の整備方針として示されている内容

文化芸術ゾーンの中の位置づけ

文化芸術ゾーンへの誘導機能や文化芸術の発表の場となる市民に親しまれる空間の整備

整備の考え方

文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上に寄与する整備を行う

石狩川左岸で想定される整備内容

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備
2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保
3. 利便性の高い自転車・歩行者・自動車動線の確保



「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備

現状に対する委員からの意見



- ・中心市街地のオープンスペースとして、いろいろなイベントに活用されている
- ・夏場は照返しの強い場所となっており、イベント以外ではあまり活用されていない
- ・デザインが目立っており周辺の景観と調和していない

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備

「文化芸術ゾーン形成検討会議」での主な意見



事務局から

- ・常磐公園周辺の慢性的な駐車場不足を緩和するため常設の駐車場が必要
- ・常磐公園でのイベント時に臨時駐車場として利用できるスペースの確保
- ・冬まつりなどのイベントスペースとして引き続き利用

委員から

- ・駐車場の舗装材はできるだけ自然なものが良い
- ・駐車場と旭橋が近いと、旭橋が車(特にバス)の陰になり常磐公園側から見えなくなる
- ・公共交通機関などの利用を促すべき

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

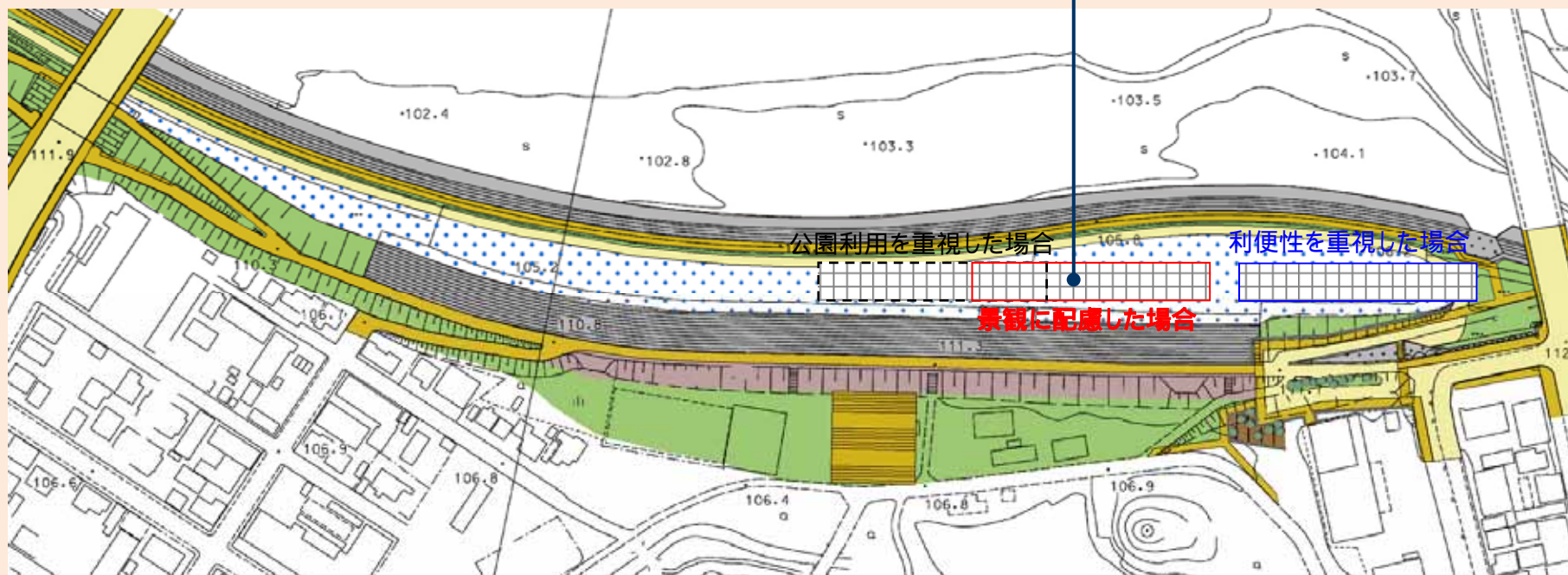
1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備

想定される整備内容

常設駐車場の考え方

- 80台の普通車が駐車可能
- 旭橋の眺望を阻害しないため橋から150m程度離す
- 周辺の景観との調和をはかる

常設駐車場(80台程度)を適正な位置に確保



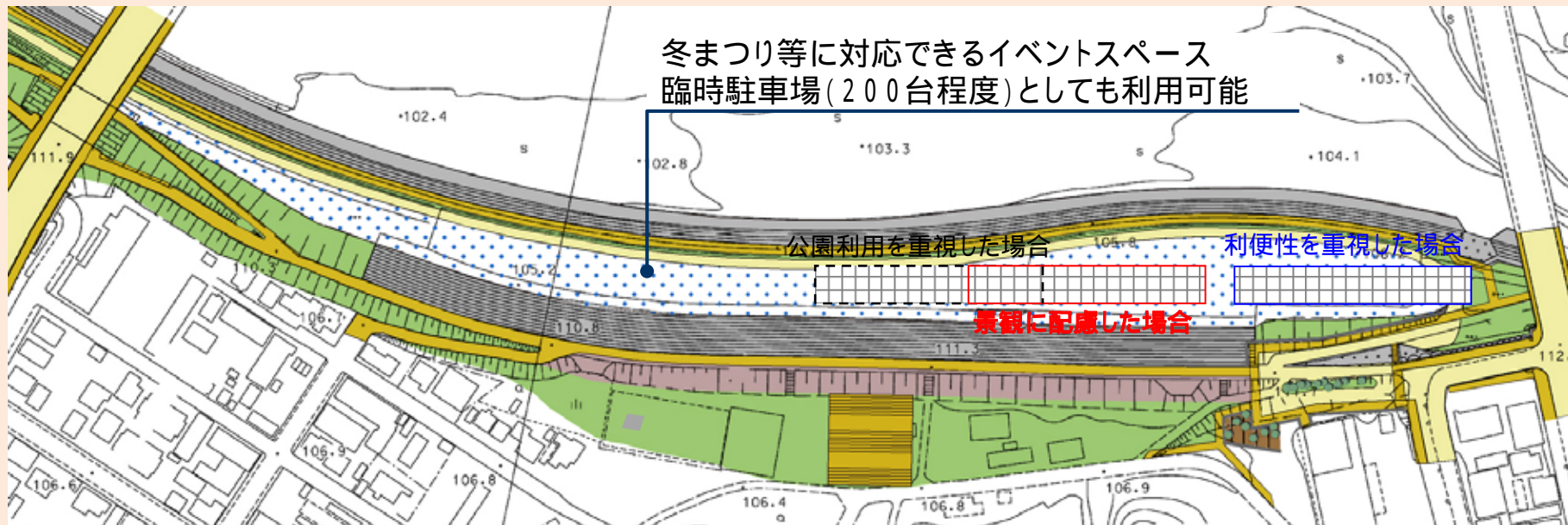
「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備

想定される整備内容

常設駐車場を除く高水敷(臨時駐車場)の考え方

- 冬まつり等のイベントに利用できるオープンスペースとする
- 大規模な臨時駐車場としても利用可能な整備
- 周辺の景観との調和をはかる



「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

「文化芸術ゾーンの整備方針」は、『文化芸術ゾーン形成検討会議』において議論され、市民意見の公募などを経て策定されています

【河川区域】の整備方針として示されている内容

文化芸術ゾーンの中の位置づけ

文化芸術ゾーンへの誘導機能や文化芸術の発表の場となる市民に親しまれる空間の整備

整備の考え方

文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上に寄与する整備を行う

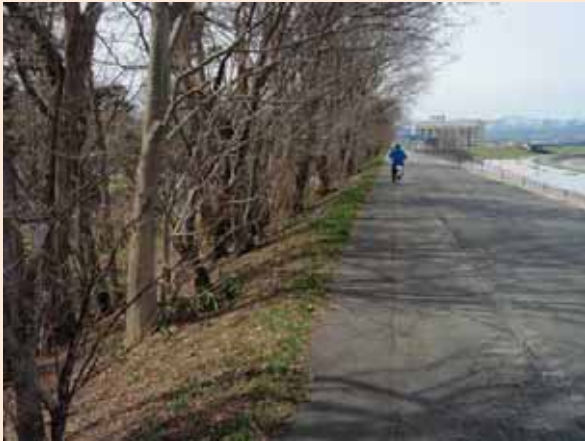
石狩川左岸で想定される整備内容

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備
2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保
3. 利便性の高い自転車・歩行者・自動車動線の確保

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保

現状に対する委員からの意見



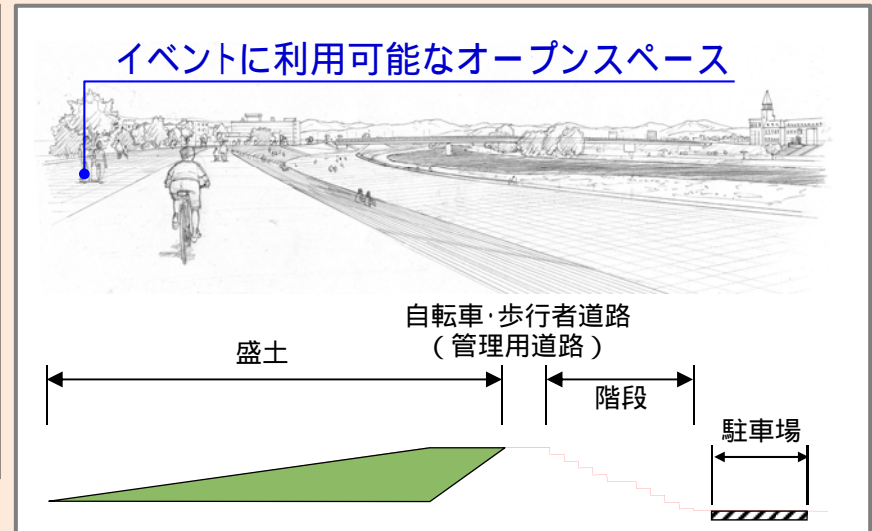
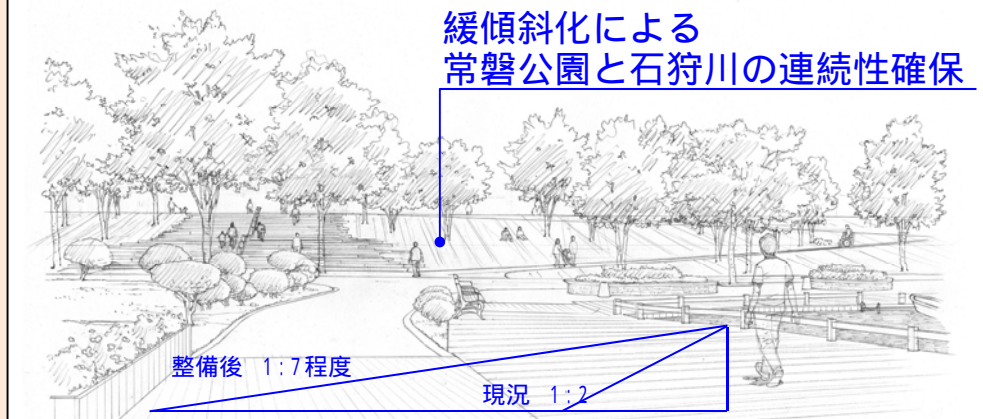
- 堤防により石狩川の河川空間と常磐公園が分断されている
- 堤防の幅が狭く、階段が急なため花火大会などのイベント時に転落などの危険がある
- 堤防付近には木が鬱蒼と茂っており暗くて近寄れない箇所もある
- 堤防に樹木が生えていることは機能上好ましくない

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保

「文化芸術ゾーン形成検討会議」での主な意見

堤防緩傾斜化のイメージ



事務局から

- 分断されている常磐公園と河川空間を、堤防の緩傾斜化により一体化する
- 堤防を拡幅しイベント等に利用可能なオープンスペースを創出する

委員から

- 堤防が拡幅し、常磐公園側が緩傾斜になるとイベントなど利用面で可能性が膨らむ
- 美術館や図書館へのアクセスが良くなり便利になる
- イベントの際に堤防や階段から転落する危険性が減り安全になる
- 景観面や自然面からも違和感のない、連続性・一体感を持たせた整備が必要
- 樹木の伐採は慎重に行うべき
- 車椅子での利用等ユニバーサルデザインへの配慮が必要

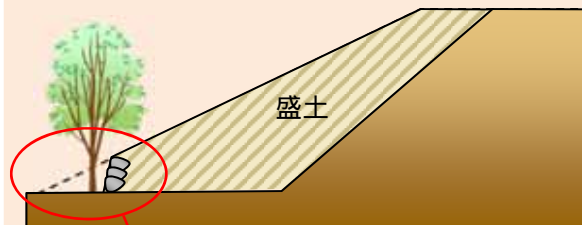
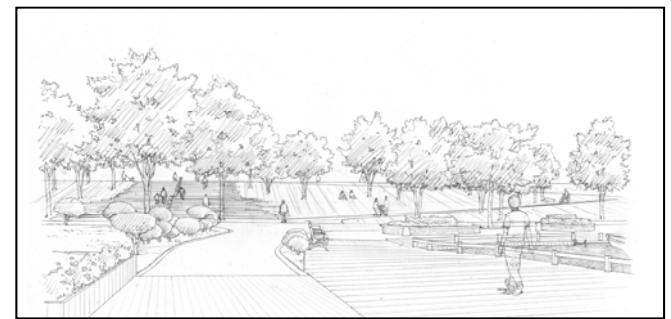
「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保

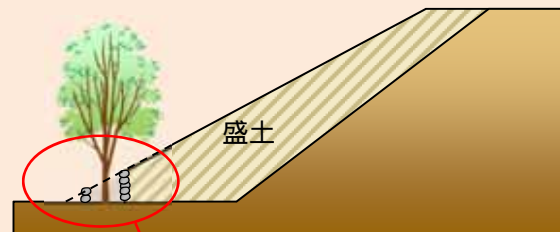
想定される整備内容

緩傾斜盛土の考え方

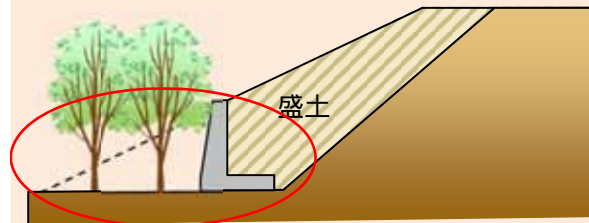
- 堤防を緩やかな勾配とする
- 安全・安心な階段、スペースを確保する
- 樹木に優しい目線をもって整備していく
- 樹木の専門家を交えた別のステージで具体的検討を行う



法尻の急傾斜化



通気性を確保する



擁壁の設置



「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

「文化芸術ゾーンの整備方針」は、『文化芸術ゾーン形成検討会議』において議論され、市民意見の公募などを経て策定されています

【河川区域】の整備方針として示されている内容

文化芸術ゾーンの中の位置づけ

文化芸術ゾーンへの誘導機能や文化芸術の発表の場となる市民に親しまれる空間の整備

整備の考え方

文化芸術ゾーンの賑わい創出や来訪者の利便性向上に寄与する整備を行う

石狩川左岸で想定される整備内容

1. イベントにも利用可能なオープンスペースの創出と駐車場整備
2. 緩傾斜化による常磐公園と石狩川の連続性確保
3. 利便性の高い自転車・歩行者・自動車動線の確保

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

3. 利便性の高い自転車・歩行者・自動車動線の確保

現状に対する委員からの意見

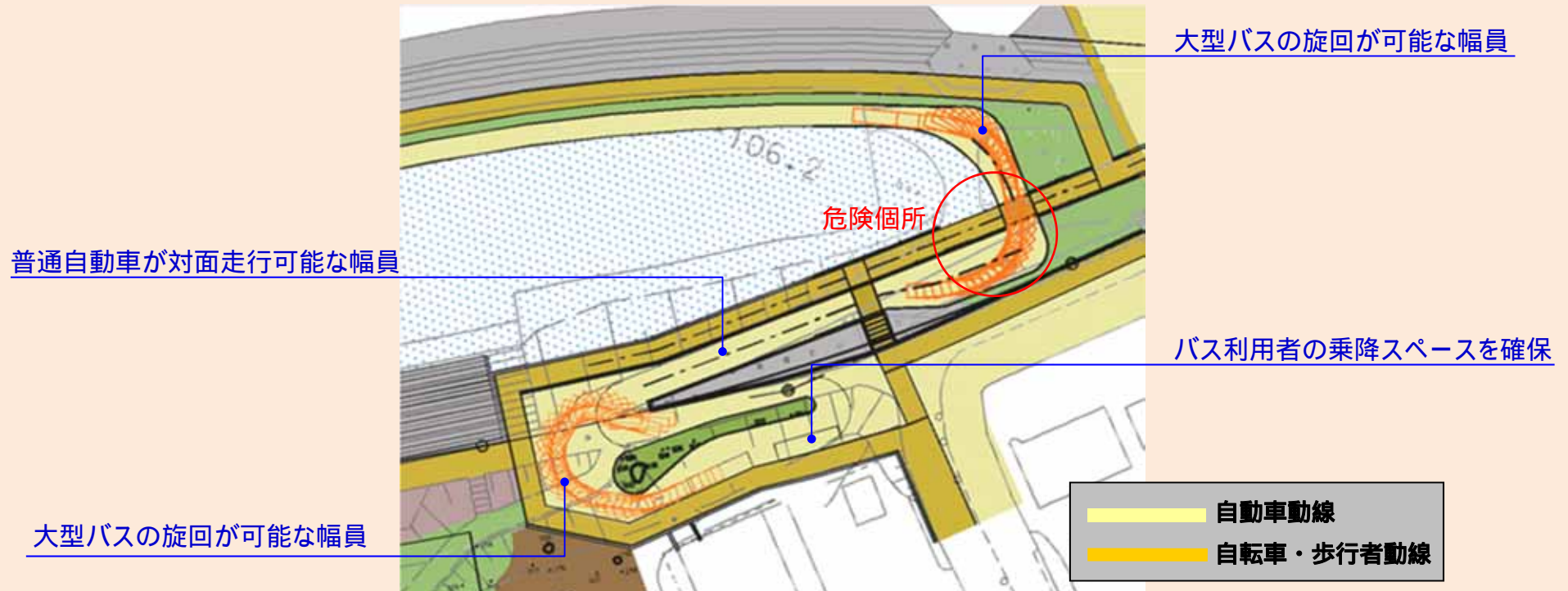


- 生活動線として多くの市民に利用されている
- 取付道路の幅が狭く、カーブが急なため駐車場への進入路として問題がある
- 歩行者用の階段や、自転車用のスロープが急で狭い
- バリアフリーの観点で整備されていない

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

3. 利便性の高い自転車・歩行者・自動車動線の確保

想定される整備内容



- 安全を確保するため、駐車場を利用する自動車の動線と歩行者・自転車動線を分離
- 普通自動車がスムーズに出入りできる動線
- 大型バスの旋回が可能な動線
- 冬まつり等のイベント時にバスによる来場者輸送を考慮し乗降スペースを確保

「文化芸術ゾーン」における河川区域の整備方針

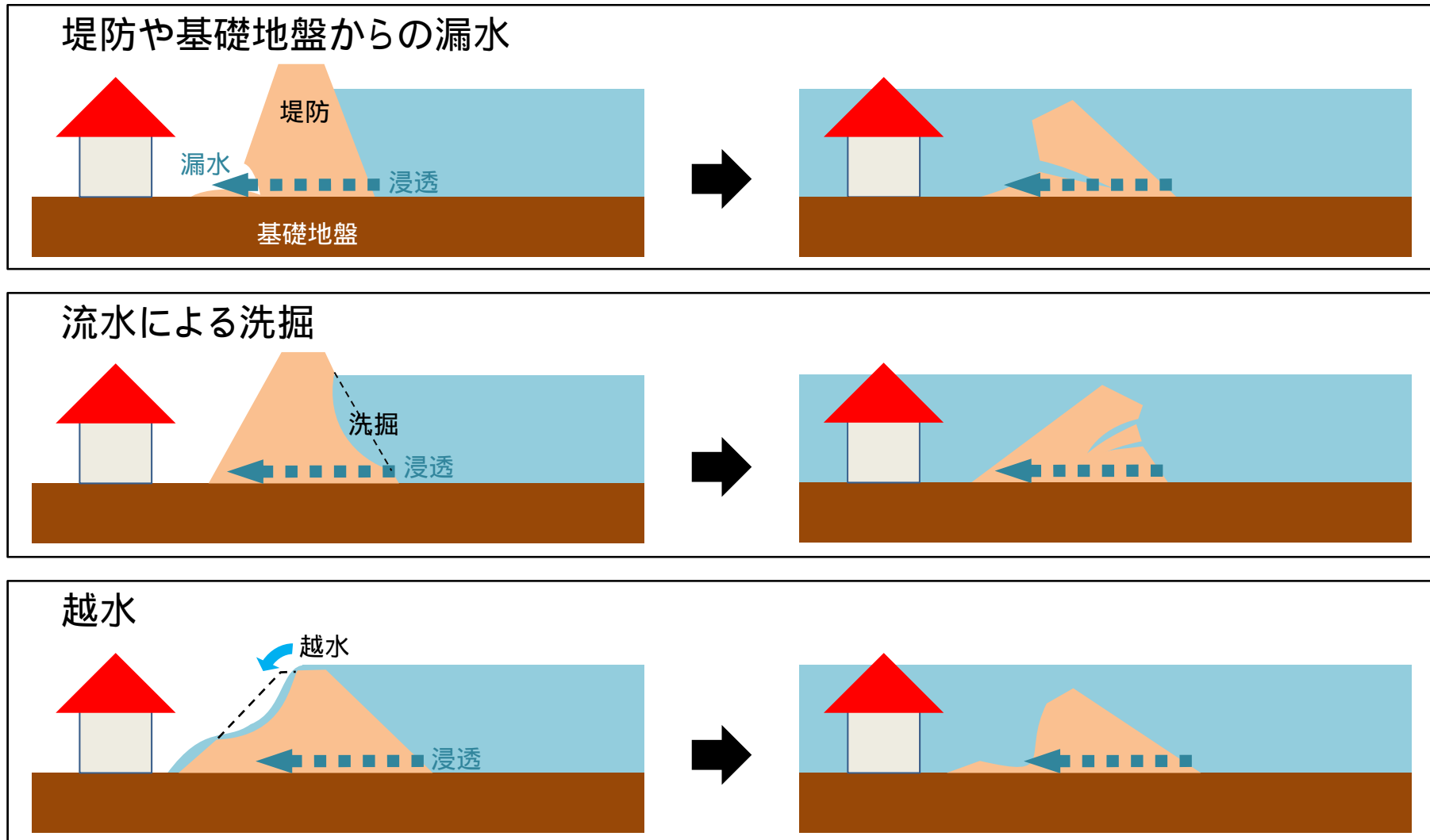
「文化芸術ゾーンの整備方針」は、『文化芸術ゾーン形成検討会議』において議論され、市民意見の公募などを経て策定されています

- 多くのイベントが開催できる広場整備を行います
- 地区の駐車場不足を解消するために新たに駐車場(約80台)を整備します
- 急勾配の常磐公園の堤防を緩傾斜化し、安全性を確保するとともに常磐公園と河川敷の一体利用を可能にします



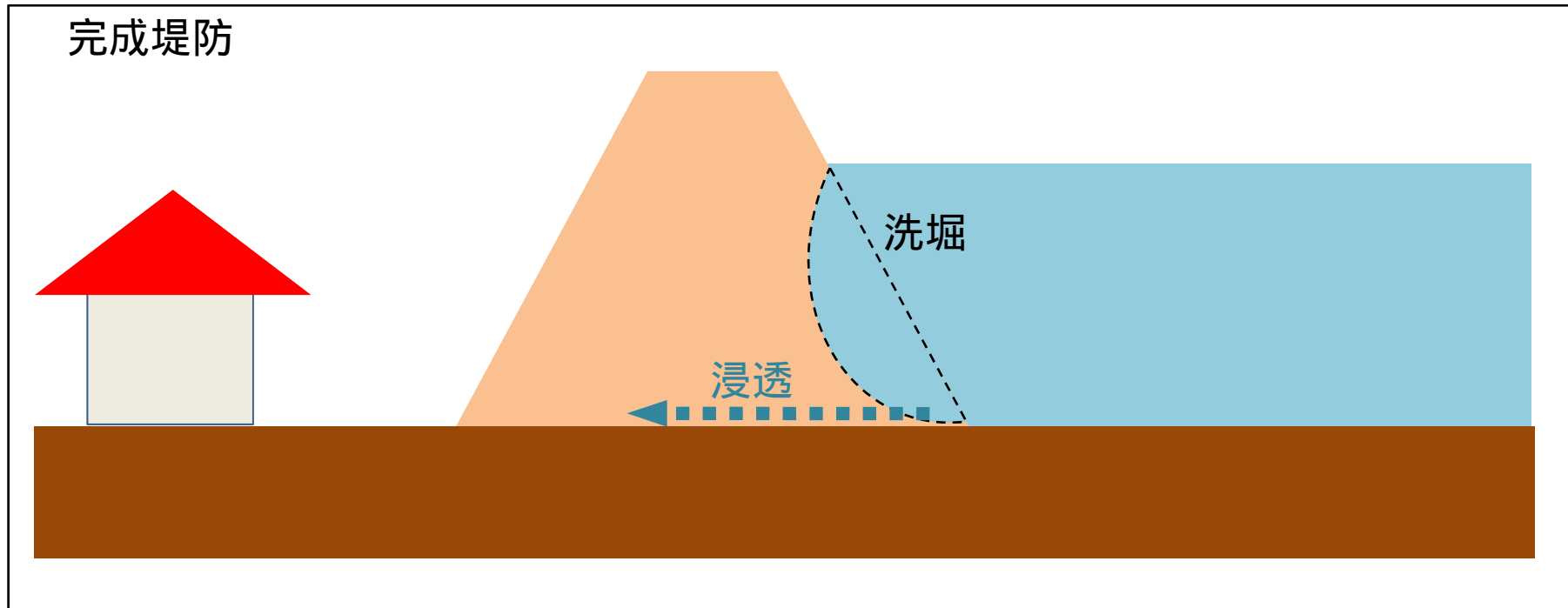
堤防の安全性

1. 堤防が破堤（決壊）する一般的な原因



堤防の安全性

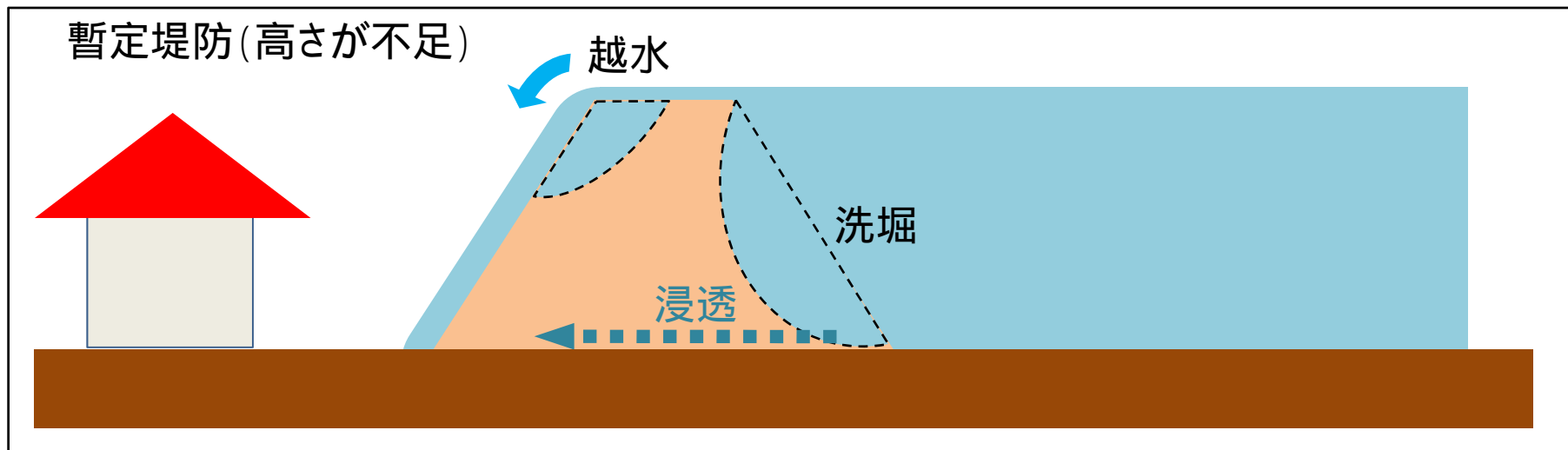
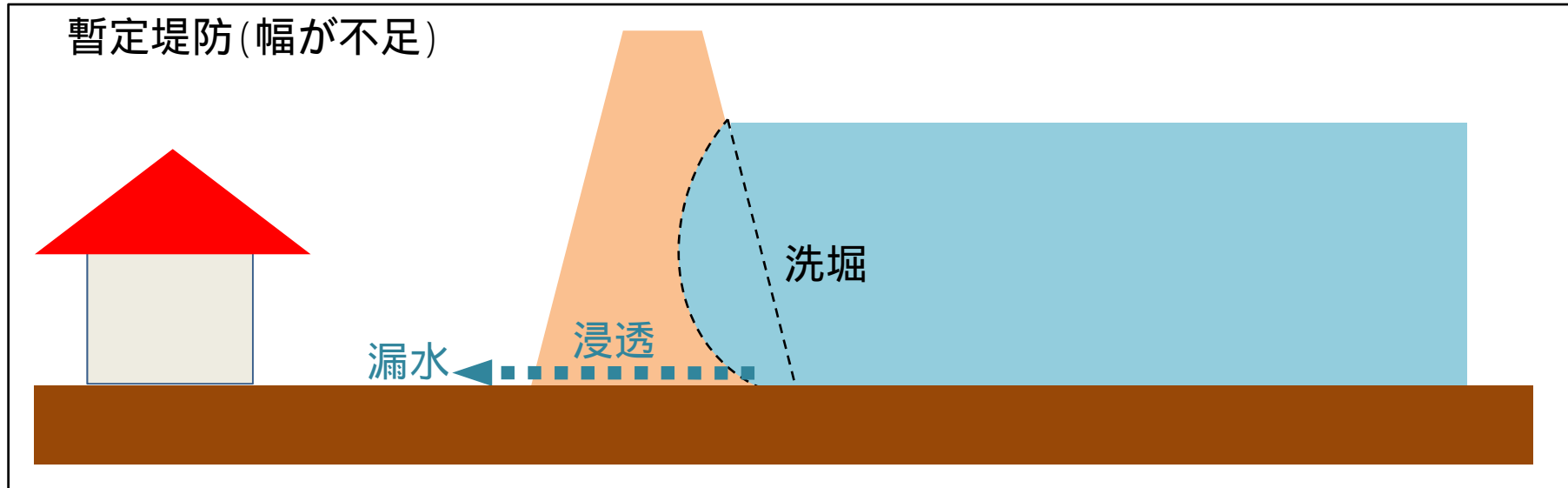
2 . 堤防に求められる安全性が確保されている堤防



- 浸透・洗堀：堤防の幅を広くする事で安全性が高まる
- 越水：堤防を高くする事で安全性が高まる

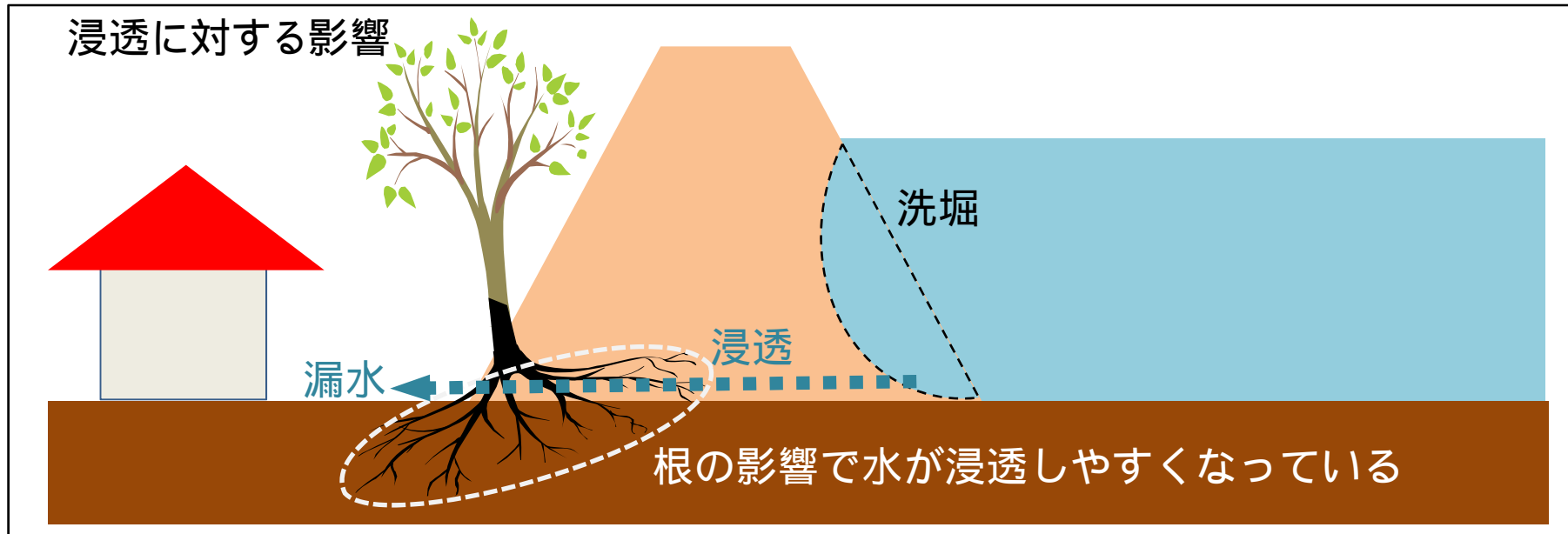
堤防の安全性

3. 堤防に求められる安全性が不足している堤防



堤防の安全性

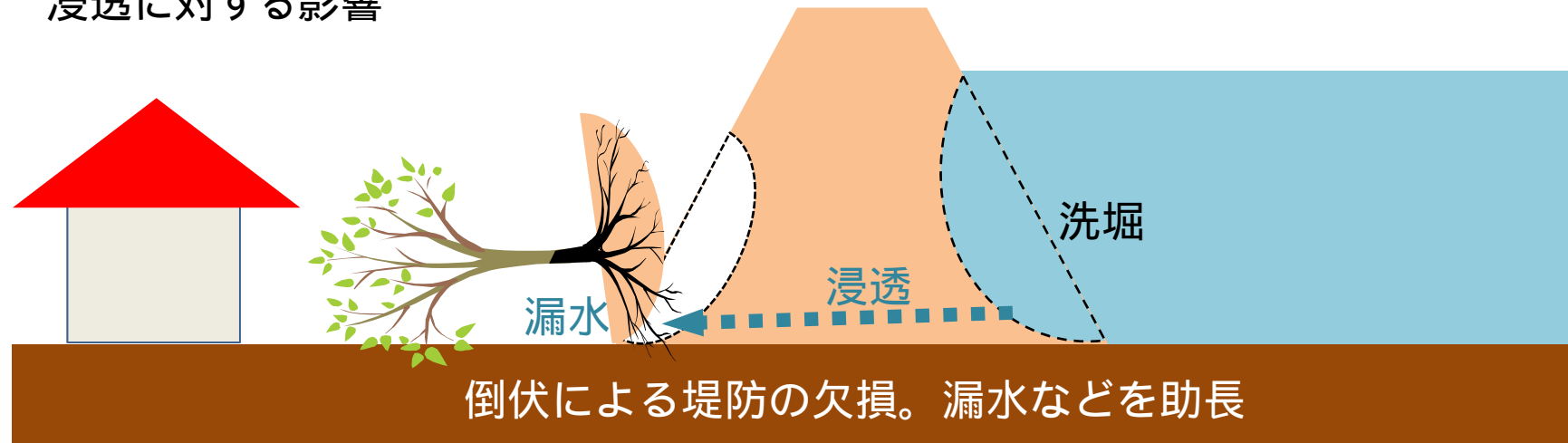
4 . 堤防の安全性対する樹木の影響



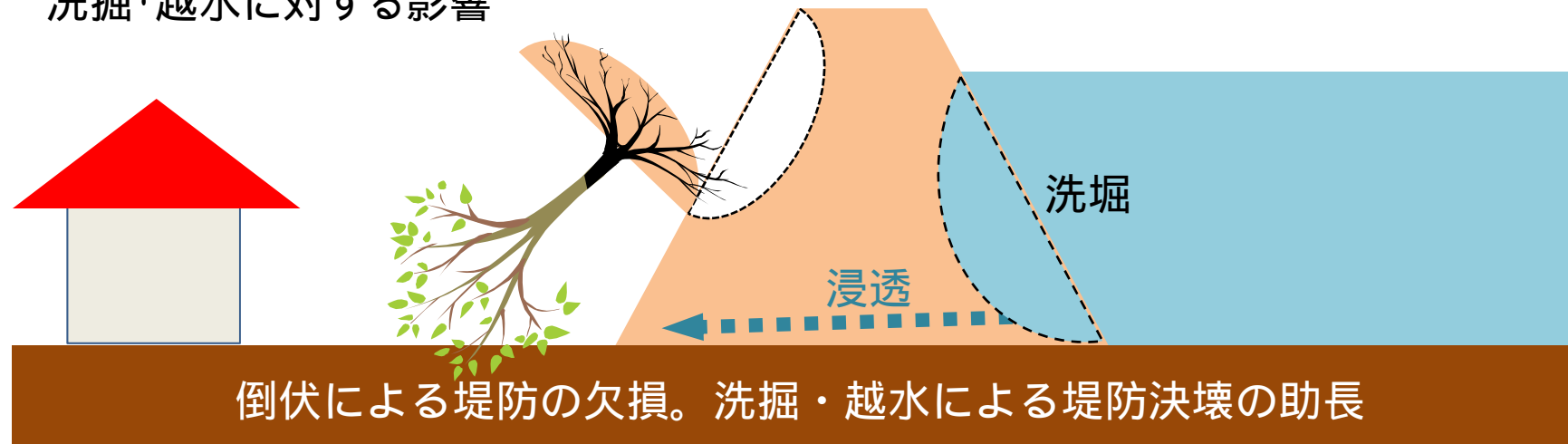
堤防の安全性

4 . 堤防の安全性に対する樹木の影響

浸透に対する影響



洗掘・越水に対する影響



堤防の安全性

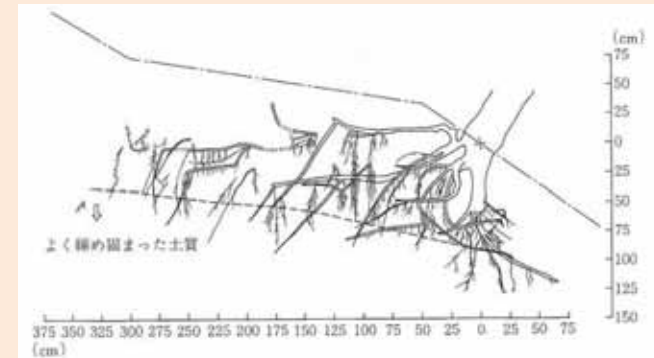
4 . 堤防の安全性対する樹木の影響

根の侵入の実例

堤体下部に多数の根が侵入すると根系表面に水みちが形成され漏水発生の要因になる危険がある。さらに、強風時の揺動や倒伏により堤体を損傷する危険もある

「河川における樹木管理の手引き」より引用

堤防法面に生育したアカメヤナギの根を調べた例



倒伏の実例と揺動について

堤体下部に多数の根が侵入すると根系表面に水みちが形成され漏水発生の要因になる危険がある。さらに、強風時の揺動や倒伏により堤体を損傷する危険もある

「河川における樹木管理の手引き」より引用

台風時の強風で堤防沿いの樹木が倒伏した事例



堤防の安全性

5 . 樹木と河川管理

常磐築堤における樹木の倒伏の実例



堤防に樹木を植栽している例

